

# PHILIPS



## Better care for more people

Company profile



改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2024 Koninklijke Philips N.V.

2431354  
122410001-WC

フィリップス・ジャパン会社案内

✦  
革新的な技術を通じ、  
人々のよりよい健康と満ち足りた  
生活の実現を目指しています。

フィリップスでは、2030年までに、年間25億人の生活を向上することを目指しており、そのうちの4億人はサービスが十分に行き届いていないコミュニティに属しています。

フィリップスおよび当社ブランドのライセンスを付与された企業は、テクノロジーカンパニーとして、「もっと健やかな未来へ」という一貫した信念のもと、人々のためにイノベーションを起こします。



# ヘルスケア トランスフォーメーションを通じ、よりよいケアをより多くの人々へ

フィリップスの歴史は、1891年オランダで、Gerard Philipsという一人のイノベーターによって設立されたことにより始まりました。そして現在、私たちフィリップスは、ヘルステックのリーディングカンパニーとして、革新的な技術=イノベーションを通じて人々のよりよい健康と満ち足りた生活の実現を目的に、2030年までに年間25億人の生活を向上させることを目指しています。

高齢化が進む日本においては、医療コストが増加を続け、医療従事者不足が深刻化し、ヘルスケアにおける提供のあり方の変革が急務となっています。このような状況の中、2024年4月からは医療従事者の働き方改革が始まり、医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、病院経営・運営の効率化が必要とされています。

私たちフィリップスは、医療設備・機器活用や院内外医療情報連携の最適化、病院内のワークフロー改善のご提案やhospital to home(ホームケアソリューションの充実、院外ケア)を通じて、これらの課題解決に大きく貢献できると考えます。患者様のよりよい健康やウェルビーイングの実現、患者様やそのご家族の満足度向上、医療従事者の満足度向上と、医療費の適正化を目指しています。

日本では、1953年に日本電子開発株式会社として、フィリップス製品の輸入を開始しました。その後、循環器・脳疾患や急性期・重症疾患の診断と治療、睡眠と呼吸器のホームケア、オーラルヘルスケアやグルーミング&ビューティなどのパーソナルヘルス製品など、さまざまな分野でリーダーシップを発揮してきました。今後も人々を中心とした意義あるイノベーションを通じ、よりよいケアをより多くの方々へ提供してまいります。

株式会社フィリップス・ジャパン  
代表取締役社長  
ジャスパー・アスエラス・ウェステリンク



フィリップスは130年以上にわたり、  
画期的なイノベーションを次々と生み出し、  
人々の生活の向上に貢献してきました。

1890年代



イノベーションと  
起業家精神に基づいた創業

1900年代



照明機器以外に事業を拡大

1940年代



第二次世界大戦後に  
グローバル展開

1990年代



事業の多角化を推進

2010年代



事業ポートフォリオの  
戦略的絞り込み

## フィリップスが目指す提供価値

日本の医療業界では、医療従事者の労働力不足、医療機関の厳しい財政状況が深刻な課題となっています。  
フィリップスは、これらの課題解決に向けて、4つの価値を提供し、それぞれの価値の連鎖を図ります。



患者様のよりよい  
健康の実現



医療従事者の  
環境の改善



患者様・ご家族の  
満足度向上



医療コストの  
削減と収益改善

現在も革新的な技術を活用し  
ヘルスケア領域の課題解決を目指しています

売上の

**9%**

を研究開発に  
投資(2023年)

**~50%**

のソフトウェア／  
データサイエンスで  
研究開発を重点化

**53,000件**

の特許を保持(2023年)

**第2位**

2023年の  
欧州特許庁への  
医療技術特許出願件数

クラリベイトによる  
**トップ100  
グローバル・  
イノベーター**  
11年連続獲得

## 人々の健康な生活を 一つのつながりとして考えています。

フィリップスは、ヘルスケアは全体的につながりを持つものであると考えています。人々が健康な生活を送り、病気を予防するためのお手伝いをします。臨床医が正確な診断を行い、パーソナライズされた治療に必要なツールを提供し、そして患者様が自宅や地域社会で回復するというプロセスをシームレスなつながりでサポートします。

## お客様視点での 価値創出を目指す

# 7つのセグメント

フィリップスのミッションは、ヘルステックによって、医療機関・患者様・健康な人々など、さまざまな方々が必要とする価値を創造し提供することです。私たちは、お客様視点での価値創出に向けて、7つのセグメントで組織を編成しています。



**Precision Diagnosis**  
画像診断



**Image Guided Therapy**  
イメージガイドセラピー



**Monitoring & Connected Care**  
モニタリング & コネクテッドケア



**Enterprise Informatics**  
エンタープライズ インフォマティクス



**Sleep & Respiratory Care**  
スリープ & レスピラトリーケア



**Personal Health**  
パーソナルヘルス



**Services & Solutions Delivery**  
サービス & ソリューションデリバリー



## Precision Diagnosis

画像診断

# より確度の高い 画像診断を支える フィリップスのソリューション

フィリップスの放射線医療ソリューションでは、適切なデータ、技術、臨床所見に基づいた確度の高い診断とよりよい治療のための最新のイノベーションを提供しています。これにより患者様・ご家族の満足度の向上、医療従事者の環境改善、不要なコスト削減と収益改善を支援します。また、超音波診断装置は、循環器領域での最新技術開発に加えて、画質と性能に妥協することなく汎用性とポータブル性を追求。患者様がどこにいても先進技術を提供できるよう設計されています。

### 取り扱い製品・サービス



磁気共鳴画像診断装置 (MRI)



X線CT診断装置

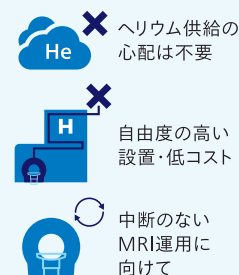


超音波診断装置

### Topics ヘリウムの制約から解放され、持続可能で生産性の高いMRI運用を目指す BlueSealマグネット

ヘリウムを使用する従来のMRI装置では、装置の維持に膨大な費用がかかり安全性に関する運用条件がありました。フィリップスでは、ヘリウムに依存しないMRI運用が可能となるように、ヘリウム密封型BlueSealマグネットを開発しました<sup>\*</sup>。BlueSealマグネットでは充填されるヘリウムの量は従来のMRマグネットと比較して0.5%未満で、装置重量がこれまでより約900kgも軽量化されました。これにより装置導入における設置の自由度が高まり、

ヘリウム使用による運用上のリスクから解放されます。そして、ボア内で物が引っかった場合などでも、磁場を一時的に落とすことができ、問題が解決した後に再起動（励磁）することで再び磁場を回復することができるため、運用時のダウンタイムを最小限にできます。地震などの災害発生時にも、比較的速く装置を再稼働できるため、医療機関の危機管理という観点からも注目されています。



<sup>\*</sup> 稀なケースとして、マグネットの密封が損なわれた場合でもヘリウムの量はわずかであるため、漏れたヘリウムが室内の酸素レベルに影響を与えることは実質的にありません。



## Image Guided Therapy

イメージガイドドセラピー

# 低侵襲治療による 価値を提供する 製品ポートフォリオを展開

イメージング装置分野では、据え付け型のアンギオ装置と移動型の外科用Cアーム装置で低侵襲血管内治療と外科的手術の双方へ対応しています。また、診断・カテーテルデバイス分野では、冠動脈領域、末梢血管領域、不整脈領域それぞれで、診断・治療デバイスを取り揃え、循環器領域の診断・治療を支えています。

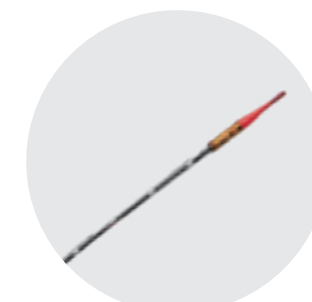
### 取り扱い製品・サービス



血管撮影装置



モバイルCアーム



血管内超音波診断カテーテル (IVUS)

● スコアリングバルーン ● エキシマレーザ ● プレッシャーガイドワイヤ ● リード抜去システム

### Topics 社会課題に応えるトータルソリューション

日本の三大疾病である脳卒中や循環器疾患は、要介護となる原因の25%<sup>\*</sup>を占めており、これから高齢化が進行する中で社会的負担のさらなる増大が予測されています。医療現場では、ワークフローの効率化、患者ケアの向上、そしてコスト削減が大きな課題となっています。フィリップスはイメージング装置と診断・治療デバイスの両方を提供するブランドとして、統合的なソリューションを通じて高度化・複雑化する医療現場のニーズに応え、インターベンション手技をサポートする革新的な技術を提供し、現代医療の課題解決に取り組んでいます。



<sup>\*</sup> 厚生労働省「2022(令和4)年国民生活基礎調査の概況」



## Monitoring & Connected Care

モニタリング & コネクテッドケア

# 医療現場への クリアな情報提供で スムーズな治療につなげます

フィリップスの生体情報モニタは、治療の環境や患者様のケアレベル等、さまざまな要件に対応し、必要なときにスムーズな治療につなげられる情報を提供します。コンパクトで移動も可能な製品を含め、豊富なラインアップから使用環境に適応した製品をお選びいただけます。また、日常生活を送りながら実施するホルター心電検査では、AI解析サービスを含む一貫したソリューションを提供することで、通院の手間が省け、患者様と医療従事者のどちらの負担も軽減します。

### 取り扱い製品・サービス



生体情報モニタ



ホルター心電計



除細動器



AED

#### Topics

### 心停止発生の約7割が住宅で発生※1 自宅でもAEDの適正配置を

フィリップスでは、心停止からの社会復帰率を高めるためにAEDの適正配置を促進する活動を続けています。駅や公共施設では一般的になったAEDですが、実際は心停止の約7割が住宅で発生しています。

心停止から5分以内の電気ショックが理想※2とされるものの、救急車の到着まで平均10.3分※1かかります。そこでフィリップスでは大切な命を守るため家庭用のAEDの設置を推奨し、定期的な救急救命講習の受講を促すなど日頃の意識を高めることにも力を注いでいます。



※1 総務省消防庁「令和5年版 救急救助の現況」 ※2 AHA心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン2000



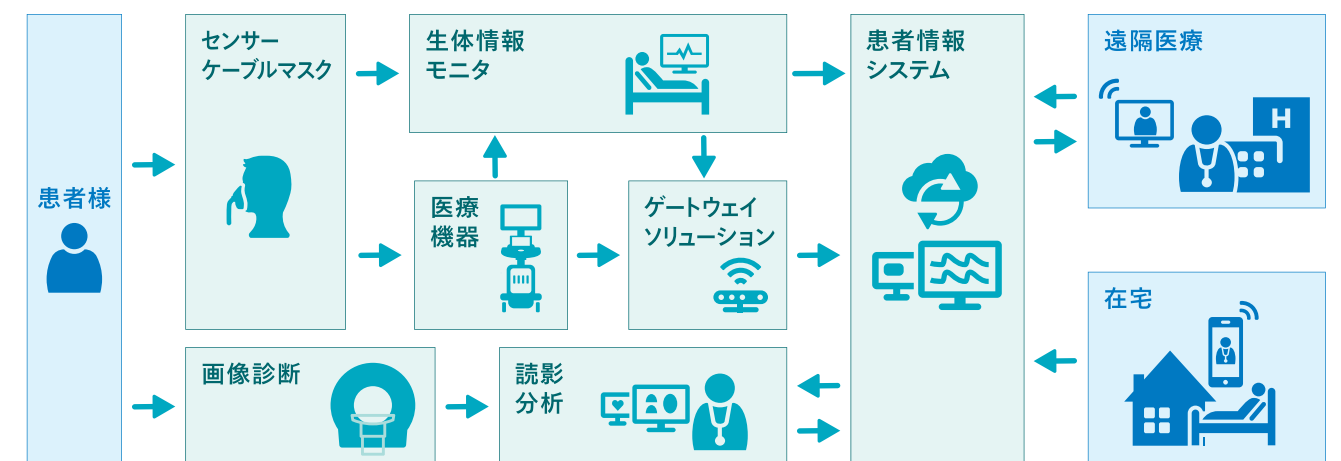
## Enterprise Informatics

エンタープライズ インフォマティクス

# 医療情報連携の標準化とデータ利活用を促進し、 ヘルスケア提供のあり方を変革します

医療現場における限られたリソースを患者様のアウトカム改善に集中できるよう、フィリップスのエンタープライズ インフォマティクスでは、医療情報やデータの連携や利活用を促進し、ヘルスケア提供のあり方を変革します。

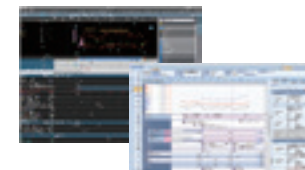
医療機関、ワークフロー、ベンダーを超えたソフトウェアとハードウェアのシームレスな連携により、臨床データと業務データを活用、プロセスを最適化し、医療現場における生産性の向上を目指しています。



### 取り扱い製品・サービス



画像解析ワークステーション



部門システム  
(手術部門・重症部門)



遠隔集中治療支援



臨床データ連携

●ヘルスケアIT ●デジタルパソロジーソリューション ●MRI超音波融合前立腺生検装置

#### Topics

### 病院における遠隔医療 医療の現場に変革をもたらす遠隔集中治療支援

日本の医療における集中治療の環境は、重症患者の増加、集中治療専門医および重症患者看護経験のある看護師の不足、医療の質の格差、感染症への不安などの課題の早期改善が求められています。遠隔集中治療支援プログラムは「People」「Technology」「Process」の3つをテーマに、支援センターから集中治療の現場に対し遠隔で支援を行います。業界をリードする臨床アルゴリズム、専任のケアチーム、および臨床の専門知識を活用して、急変時には専門医が遠隔から支援し、センターで24時間データモニタリングを行うことで早期発見と介入による重篤化防止にも貢献します。また、この取り組みは医療従事者の働き方改革を推進し、より持続可能な医療体制の構築に寄与します。





## Sleep & Respiratory Care

スリープ & レスピラトリーケア

### 自然な呼吸と 快適な眠りをサポート

睡眠治療装置や人工呼吸器などの診断・治療データをクラウド管理し、病院内だけでなく、ご家庭での在宅長期ケアもサポートします。遠隔医療ソリューションでは、遠隔モニタリング、オンライン診療、適切な介入で、対面診療が難しい場合でも患者様の様態を把握しながら遠隔でのサポートが可能となり、通院負担や未外来の軽減、感染拡大期における選択肢の一つとしてご活用いただけます。

#### 取り扱い製品・サービス



睡眠検査・治療



人工呼吸器・酸素濃縮器  
(在宅)



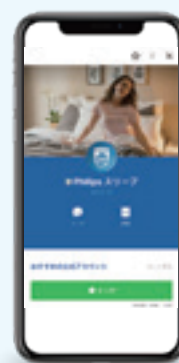
人工呼吸器  
(病院)



クラウド管理  
(遠隔モニタリング・遠隔処方変更)

#### Topics LINE公式アカウント「Philips スリープ」

LINE公式アカウント「Philips スリープ」では、睡眠や睡眠時無呼吸症候群の情報を配信しています。睡眠時無呼吸症候群についての質問ができるチャットボットや、睡眠時無呼吸症候群の疾患啓発サイト「無呼吸ラボ」を閲覧いただけるなど、手軽に情報にアクセスでき、睡眠についての知識を深めることができるコンテンツをお届けします。また、CPAP装置をご使用中の方には、機器に関する情報もお届けしています。



スマートフォンなど各端末のカメラから二次元コードを読み取り、友だち追加します。



## Personal Health

パーソナルヘルス

### 健康な生活を支える イノベーション

オーラルヘルスケアでは、フィリップスの100年以上にわたるヘルスケアの専門知識を活かしながら、歯科専門医の協力のもとで開発した製品を家庭向けに提供しています。グルーミング&ビューティでは、定期的なリサーチを実施することで時代のトレンドや志向にも対応し、肌へのやさしさにも考慮したシェーバーやグルーミング製品、光美容器を提供しています。

#### 取り扱い製品・サービス



オーラルヘルスケア



シェーバー



グルーミング



ビューティ

#### Topics 11月8日は「いい音波でいい歯の日」

フィリップスではオーラルケアの意識を高め、お口の健康を守る取り組みを行っています。約30年にわたる研究と開発によって、進化し続ける電動歯ブラシブランド「ソニックケア」の特長である、「音波水流の力で、歯ブラシの毛先が届きにくいところもやさしく磨きケアすること」になぞらえて、「いい(11)音波(08)」と「いい(11)歯(8)」の語呂合わせから11月8日を「いい音波でいい歯の日」として記念日に設定しました。また、お口の健康を守る取り組みとしてセミナーやワークショップを不定期に開催し、子供の時からオーラルケア習慣を身につけることで大切な歯を守る重要性を知ってもらうこと、そして大人には歯周病からさまざまな疾患のリスクがあることをお伝えしています。





## Services & Solutions Delivery

サービス&ソリューションデリバリー

装置を快適に  
ご使用いただくために、  
そしてさらなる価値を創出するために

フィリップスのカスタマーサービスでは、システムのライフサイクルに合わせた各種プログラムを用意しております。患者様にはよりよい結果を、スタッフには勤務環境の改善やさらなる満足度の向上を、そしてデータ保護やリスク低減、収益改善のために、導入時にはもちろん将来にわたって装置・システムから高い価値を引き出しただけのよう、専任スタッフがご要望をお聞きし、お客様のパートナーとしてさまざまな提案をお届けいたします。

### 取り扱い製品・サービス

### フィリップスのカスタマーサービス



※オプションを含みます。製品または地域によって、お選びいただけないサービスもあり、除外あるいは追加費用を申し受ける場合があります。また、保守契約に追加できるオプションサービスは装置によって異なります。詳しくは営業または担当エンジニアにお問い合わせください。

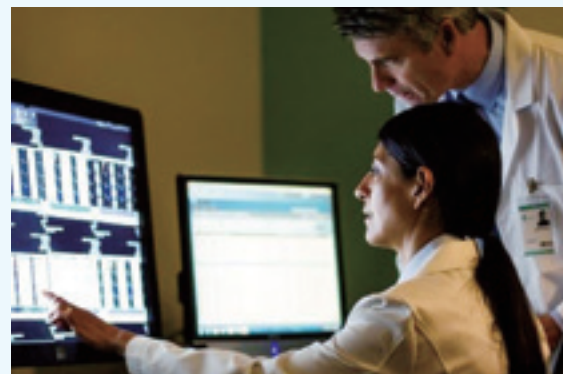
### Topics

### ライフサイクルを通してのカスタマーサービス

フィリップスは、修理に必要な部品の手配をはじめ、将来のメンテナンスをよりプロアクティブ(予防的)かつプレディクティブ(予知的)に行うことで、突発的な機器の故障を削減するサービスを提供します。

さらに、メンテナンスによるシステムの安定した稼働やパフォーマンスの維持に加え、エデュケーションサービスやアプリケーションサポートにより、お客様を支援します。

装置の臨床的な価値を高く維持し、パフォーマンスを最適化するライフサイクルマネージメントをお届けします。



# Thought Leadership

ソートリーダーシップ

## Future Health Index 2024



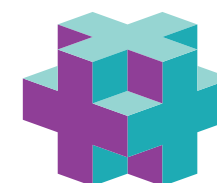
「Future Health Index 2024」は、ヘルスケアリーダー(医療機関の経営者・意思決定者)を対象に、タイムリーで質の高い医療を提供することに関する意識調査の結果をまとめたものです。2023年12月～2024年3月、14カ国(オーストラリア、ブラジル、中国、インド、インドネシア、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、サウジアラビア、シンガポール、南アフリカ、英国、米国)の約3,000人のヘルスケアリーダーを対象に定量調査を実施しました。また、シンガポール、南アフリカ、英国、米国の4カ国から2名ずつ、計8名の医療リーダーに対する定性インタビューも実施されました。

詳しくはこちらから  
ご覧いただけます。



## PHSSR

保健医療システムの持続可能性と強靱性のためのパートナーシップ



Partnership for  
**Health System  
Sustainability  
& Resilience**

PHSSRは、COVID-19により世界中の保健医療システムが圧迫されたことをきっかけとして、**より持続可能で回復力のある保健医療システムを構築**することを目的に組織された非営利のグローバルコラボレーションです。その活動は30カ国以上に広がり、各国の有識者が国別に医療システムの強みと課題をまとめたレポートを公表しています。新しいPolicy Roadmapsでは、この国別レポートから明らかになった課題から特に重要な課題を深く掘り下げることがしめされました。最初に非感染性疾患(NCDs)への早期対応に焦点をあててさまざまな取り組みを行います。

国別のレポート  
(日本版)に  
ついてはこちらから  
ご覧いただけます。



# Sustainability

サステナビリティ

## SDGsを支持する私たちのアクションプラン

イノベーションを通じてより健康でよりサステナブルな世界を目指します

2030年までに年間25億人の生活の向上を目指します



人々の健康と福祉を改善し、医療アクセスが不十分なエリアにそのアクセスを拡大します



材料の持続可能な使用を確保し、サーキュラーエコノミーへの移行を推進します



持続可能なエネルギー、CO<sub>2</sub>排出量の削減、カーボンニュートラルでの運用を確約します



- サプライチェーン全体で社会的および環境的な影響を高めるためにサプライヤーと協力します
- パートナーと協力し、地球規模の変化を推進します

ENABLERS

- エコデザインの要件に沿った製品とサービスを設計します
- 私たちの働き方にサステナブルの実践を組み込みます

## 健康経営への取り組み

フィリップス・ジャパンは、従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、「健康づくり責任者(代表取締役社長: ジャスパー・アスエラス・ウェステリンク)」のリーダーシップのもと、戦略的な健康経営を推進しています。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



### 具体的な取り組み

- 経営トップとの健康課題の共有
- ワークライフバランスの向上
- 所定外労働削減の取り組み
- One Week Vacationの取得推奨
- ケア休暇(年10日)の導入
- 病気の治療と仕事の両立支援
- 健康診断の充実と受診率100%に向けた取り組み
- 女性の健康課題に関する取り組み
- ストレスチェックの実施
- 産業医面談の実施
- 感染症予防の取り組み
- 従業員の肩こり・腰痛解消に向けた取り組み
- 従業員を対象とした健康に関するトレーニング
- オフィス環境の整備
- 禁煙サポートの取り組み

# Company Profile

会社概要

会社名 株式会社フィリップス・ジャパン (Philips Japan, Ltd.)  
住所 〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー15階  
資本金 30億円  
代表取締役社長 ジャスパー・アスエラス・ウェステリンク  
従業員数 1,942人(2024年9月1日現在)

### 拠点(2024年9月1日現在)

麻布台本社／札幌支店／道北支店／北見駐在／函館支店／帯広支店／弘前支店／八戸支店／青森支店／仙台支店／盛岡支店／秋田支店／山形支店／福島支店／いわき支店／新潟支店／長岡支店／上越支店／宇都宮支店／つくば支店／水戸支店／川越DC・さいたま支店／前橋支店／千葉支店／千葉西支店／東京支店／南東京支店／西東京支店／東東京支店／清瀬営業所／松本支店／長野支店／山梨支店／横浜支店／厚木支店／静岡支店／沼津支店／浜松支店／名古屋支店／岡崎支店／岐阜支店／三重支店／金沢支店／富山支店／福井支店／京都支店／滋賀支店／大阪支店／尼崎修理センター／奈良支店／和歌山支店／神戸支店／姫路支店／広島支店／福山支店／岡山支店／津山配送センター／山陰支店／山口支店／松山支店／高松支店／徳島支店／高知駐在／福岡支店／北九州支店／大分支店／長崎支店／熊本支店／宮崎支店／鹿児島支店／沖縄支店

### お問い合わせ

#### フィリップスサポートセンター(家電製品)

対象製品：オーラルヘルスケア、シェーバー、グルーミング、ビューティ  
電話番号：0120-944-859  
受付時間：9:00～18:00(年末年始を除く)

#### フィリップスヘルスケア(医療機器)お客様窓口

対象製品：MRI／X線CT診断装置／分子イメージング装置／血管造影装置／一般X線撮影装置／乳房用X線撮影装置／超音波診断装置／生体情報モニタ／患者情報システム／除細動器／デジタルパソロジーシステム／画像ネットワークシステム  
電話番号：0120-556-494  
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

#### フィリップスAEDコールセンター

対象製品：AED  
電話番号：0120-802-337  
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日および年末年始を除く)

#### CPAP／呼吸ケア用品 専用窓口 お客様コールセンター

対象製品：CPAP装置／CPAP用加温加湿器／マスク／呼吸ケア用品／ネプライザ／吸引器  
電話番号：0120-48-4159  
受付時間：7:00～22:00(年中無休365日対応)

#### 人工呼吸器／酸素濃縮装置 お問い合わせ窓口

対象製品：人工呼吸器(病院)／人工呼吸器(在宅)／酸素濃縮装置  
電話番号(平日)：スリープ&レスピラトリーケア事業部  
最寄りの営業所までご連絡ください。  
受付時間(平日)：9:00～17:30  
電話番号(平日夜間・土・日・祝日)：機器安全センター(0120-633-881)  
受付時間(平日夜間)：17:30～翌9:00(土・日・祝日)：24時間終日

公式ホームページ: [www.philips.co.jp](http://www.philips.co.jp)

[www.facebook.com/PhilipsJapan](https://www.facebook.com/PhilipsJapan)

[x.com/@PhilipsJapan](https://x.com/@PhilipsJapan)

[www.youtube.com/user/philipsjapan](https://www.youtube.com/user/philipsjapan)

[www.linkedin.com/company/philips](https://www.linkedin.com/company/philips)